

学年	教科	単元名	生徒	場所	指導者
2年	国語科	走れメロス	2年2組36名	2年2組教室	渡辺 美安

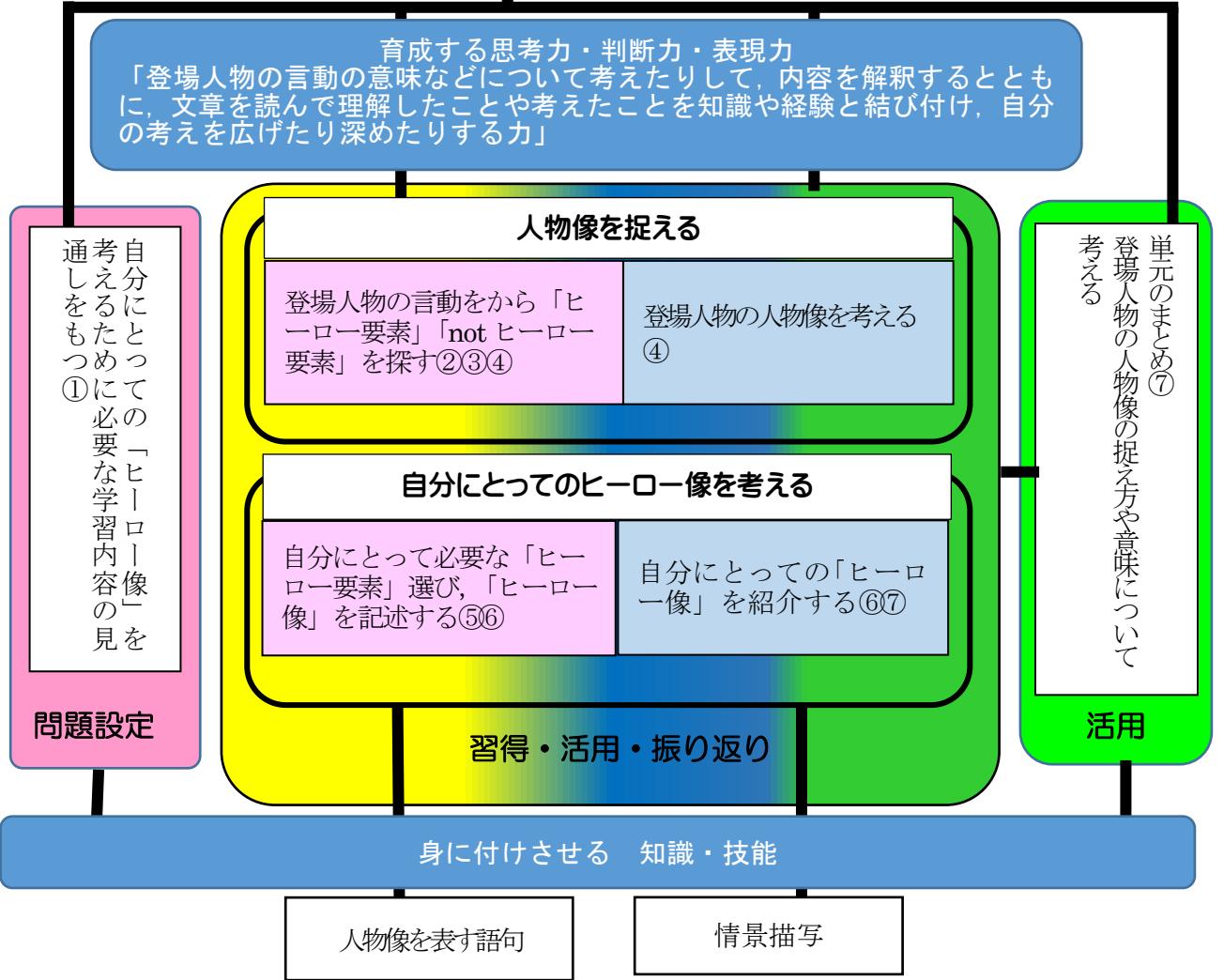
1 単元について

単元マップ

言葉による見方・考え方 自分の思いや考えを深めるため、対象と言葉、言葉と言葉の関係を、言葉の意味、働き、使い方等に注目して捉え、その関係性を問い直して意味付けること

子どもの深い学びの姿 『走れメロス』の登場人物や他者との話合いを通して、多様な「ヒーロー像」を互いに認め合う姿

解決・まとめ 登場人物の人物像を捉えるためには、登場人物の言動の意味を考えると良い人物像を捉えることで、相関関係や構造がわかる。



本単元で育てたい資質・能力

【知識及び技能】

本や文章などには、様々な立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりして読書に生かすことができる。

【思考力・判断力・表現力】

C 読むこと

登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈するとともに、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

物語の読解や他者との交流を通して、思いや考えを伝えあおうとする。

単元について

【思考力・判断力・表現力】

C 読むこと (1)

イ 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。

オ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。

本単元は、教科書に掲載されている物語としては長い文章だが、物語の構成や表現は比較的易しく書かれている。友情や信頼を中心に読まれることも多いが、様々な視点から読むことのできる物語でもある。登場人物の葛藤や心の弱さなどが詳細に描かれていて、登場人物の人物像や心情の変容が大きい。苦悩や葛藤の場面では、「メロス」が心情を直接吐露しているなど、人物像を捉えやすい。また登場人物が様々な描かれ方をしているため、登場人物に感情移入しやすい。

そこで本単元では、登場人物の言動から人物像を捉える力を身に付けるとともに、自分の「ヒーロー」に関する知識や経験と結び付けて登場人物を考えることで、考えを広げたり深めたりするようにさせたい。

児童の実態

読解力・表現力ともに学力差が大きく、集中力は持続しない。好んで読書をする生徒は多く、物語を読むのに抵抗感は少ないが、物語のあらすじや展開を読み取ることはできても、情景描写や言動の意味を考えることが苦手な生徒もいる。

間違えることに抵抗がなく、自分の意見を臆せず発表でき、意見が対立すると、自分の意見の正しさを他の人に伝えようとする生徒が多い。また、好き・嫌いが明確で、自分の好きなものに熱中できる生徒も多い。

そのため、物語の登場人物を「ヒーロー」という観点で評価することを通して、物語のあらすじだけでないものについて考えさせ、他者との交流を通して自分の読み方を広げたり深めたりするようさせたい。

単元の目標

登場人物の言動から人物像を捉え、ヒーローに関わる知識や体験と関連づけて自分のヒーロー像をもつことができる。

単元の指導について

『走れメロス』の登場人物と比較しながら自分にとってのヒーロー像を紹介することで、生徒自身の学ぶ意欲を高め、主体的に学べるようにしていく。また、学習の見通しをもったり、振り返ったりすることを通して、生徒自身に学びを自覚させ、次時に向けた学習意欲の高揚につなげられるようにする。また、教材に登場する様々な人物の人物像を捉える際、ジグソー学習を展開して協働して学びを進めるなど、対話を通して学習を進められるようにする。

このような学びのプロセスを通して、生徒が「言葉による見方・考え方」を働かせ、「ヒーロー」について自分の考えを広げたり、深めたりできるようにする。さらに『走れメロス』の読み取りを通して生徒自身の「ヒーロー像」の変化を感じさせ、作品の内容面だけではない、読書活動の楽しさを感じさせるようにする。

「つかむ・見通す」段階では、言語活動の把握、達成のために必要な学習の見通しをもつ。好きなヒーローが人それぞれ異なっているのは、ヒーローがもつ「ヒーロー要素」の違いであることを確認し、好きなものの特徴や魅力を紹介するときには、類似のものとの共通点・相違点を整理して比較するとよいことを再確認する。その後、『走れメロス』を読みながら自分にとってのヒーロー像はどのようなものか考え、紹介する活動を行うことを確認する。さらに、目標達成のために必要な学習活動は何か、生徒に考えさせてワークシートに記入させる。

「追究する」段階では、「メロス」「ディオニス」「セリヌンティウス」の言動を「ヒーロー要素（ヒーローらしい言動）」と「not ヒーロー要素（ヒーローらしからぬ言動）」に分類する。文章が長く、人物像を捉えるまでに時間がかかるため、「結婚式をあげるまでのメロスの人物像」「倒れ込むまでのメロスの人物像」「刑場にたどり着くまでのメロスの人物像」「作品全体に描かれたメロスの人物像」に分け、ジグソー学習を展開し分担して人物の「ヒーロー要素」「not ヒーロー要素」を捉えていく。「ヒーロー要素」を見つけるときは、「邪知暴虐」「単純な男」など、書かれていることだけをそのままを抜き出すのではなく、登場人物の言動から生徒自身の言葉で整理させていくようにする。

「まとめる・広げる」段階では、登場人物の「ヒーロー要素」と生徒自身の「ヒーローに関わる知識や体験」を関連付けることで、新たなヒーロー像を創り上げていく。また、それらを紹介し合うことを通して、他者の多様な考えに触れさせ、自分の考えに広がりや深まりをもたせたい。

単元の評価規準

【関心・意欲・態度】	【読む能力】	【言語についての知能・理解・技能】
『走れメロス』の登場人物と比較することで、自分にとってのヒーロー像を紹介しようとしている。	①『走れメロス』の登場人物の言動を「ヒーロー要素」「not ヒーロー要素」に分類しながらその人物像を捉えている。 ②『走れメロス』の登場人物と比較しながらヒーローについて自分の考えをもっている。	作品に使われている様々な表現から語感を磨き、語彙を豊かにしている。

子どもの深い学びの姿

『走れメロス』の登場人物や他者との話合いを通して、多様な「ヒーロー像」を互いに認め合う姿

2 単元の指導計画

【7時間扱い 本時5 / 7時間】

次	時	○主な学習活動 ・具体的内容 まとめ	□教師の働きかけ ☆思考アクティブ化ポイント 【】評価（評価方法）
つかむ・見通す	①	<p>○単元の目標の確認 ・多様なヒーローについて映像で確認する ・自分にとってのヒーローとその特徴を確認する。</p> <p>○『走れメロス』との関わりを確認する ・『走れメロス』の登場人物の言動から人物像を捉え、自分にとっての「ヒーロー像」について考えをもつことを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>私のヒーローは○○ ～『走れメロス』の登場人物と比べよう</p> </div> <p>○学習内容の確認をする。 ・学習の見通しをもつ。 ・ワークシートに必要な学習活動を記入する。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 ヒーローのイメージを記述し、自分にとってのヒーローについて考えようとしている。（ワークシート）</p> <p>☆言語活動を示し、その活動をするために必要な手順を考えさせる。 【思ア①見通す】</p>
追求する	②	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>『走れメロス』の登場人物の人物像をまとめよう。</p> </div> <p>○ジグソー学習の手順を確認する。 ・4人一組，8グループに分かれる。 ・グループで担当する場面または人物を決める。 ・場面は「①結婚式をあげるまでのメロスの人物像」「②倒れ込むまでのメロスの人物像」「③刑場にたどり着くまでのメロスの人物像」「④作品全体のディオニスとセリムンティウス」の4つに分ける。</p> <p>○登場人物の言動を「ヒーロー要素」と「notヒーロー要素」に分類する。 ・個人で「ヒーロー要素」「notヒーロー要素」を探し、教科書に線を引く。 ・同じ場面担当者で、「ヒーロー要素」「notヒーロー要素」の確認をする。</p>	<p>【読む能力】 『走れメロス』の登場人物の言動に注目し、人物像を読み取っている。（ワークシート）</p> <p>【言語についての知識・理解・技能】 『走れメロス』の登場人物の言動や人物像の読み取りから、語彙を豊かにしている。（ワークシート）</p> <p>☆場面ごとに「ヒーロー要素」「notヒーロー要素」の数や内容に違いがあることを確認させる 【思ア①多面的に見る】 ☆「ヒーロー要素」「notヒーロー要素」と考えた理由を書かせる 【思ア②抽象化する】</p>
	③	<p>○登場人物の言動を「ヒーロー要素」と「notヒーロー要素」に分類する。 ・同じ場面担当者で、「ヒーロー要素」「notヒーロー要素」の確認をする。</p> <p>・元のグループに戻り、担当範囲の「ヒーロー要素」「notヒーロー要素」を伝え、グループ用本文拡大用紙に「ヒーロー要素」「notヒーロー要素」の付箋紙を貼っていく。</p>	<p>【読む能力】 『走れメロス』の登場人物の言動に注目し、人物像を読み取っている。（ワークシート）</p> <p>【言語についての知識・理解・技能】 『走れメロス』の登場人物の言動や人物像の読み取りから、語彙を豊かにしている。（ワークシート）</p> <p>☆場面ごとに「ヒーロー要素」「notヒーロー要素」の数や内容に違いがあることを確認させる 【思ア①多面的に見る】 ☆「ヒーロー要素」「notヒーロー要素」と考えた理由を書かせる 【思ア②抽象化する】</p>

	④	<p>○「ヒーロー要素」と「not ヒーロー要素」を基に登場人物の人物像の整理をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに登場人物のヒーロー要素から人物像をまとめる。 ・『走れメロス』の登場人物の人物像を全体で確認する。 	<p>【読む能力】 『走れメロス』の登場人物の言動に注目し、人物像を読み取っている。 (ワークシート)</p> <p>【言語についての知識・理解・技能】 『走れメロス』の登場人物の言動や人物像の読み取りから、語彙を豊かにしている。(ワークシート)</p> <p>☆場面ごとに「ヒーロー要素」「not ヒーロー要素」の数や内容に違いがあることを確認させる</p> <p>【思ア①多面的に見る】 ☆「ヒーロー要素」「not ヒーロー要素」と考えた理由を書かせる</p> <p>【思ア⑫抽象化する】</p>
まとめる・広げる	⑤	<p>○自分にとってのヒーロー像を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の「ヒーロー要素」「not ヒーロー要素」と自分自身の「ヒーローに関わる知識や体験」を関連付け、新たなヒーロー像を創り上げる。 	<p>【読む能力】 読み取った「ヒーロー要素」「not ヒーロー要素」を基に、自分にとってのヒーロー像について考えている。 (ワークシート、発言)</p> <p>【関心・意欲・態度】 他者の考えを聞いて、ヒーロー像について自分の考えを深めようとしている。 (ワークシート、発言)</p> <p>☆登場人物の中から、対立関係にありそうな二つを取り上げ、比べる。</p> <p>【思ア④比較する】 ☆『走れメロス』の登場人物の言動に触れて理由を記述する。</p> <p>【思ア⑧関連付ける】</p>
	⑥	<p>○ヒーロー像の変化について実感する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のヒーロー像がはじめと比べてどのように変化したか、変化した理由などをまとめる。 <p>○自分にとってのヒーロー像を紹介し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紹介を聞いた後、コメントを書いて紹介者に渡す。 	<p>【関心・意欲・態度】 他の人が考えるヒーロー像を聞いて、自分の考えをもっている。 (ワークシート)</p> <p>☆他の人のヒーロー像の説明を聞いた感想を付箋紙に書いて、発表者に渡す</p> <p>【思ア①多面的に見る】</p>
	⑦	<p>○自分にとってのヒーロー像を紹介し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紹介を聞いた後、コメントを書いて紹介者に渡す。 <p>○まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人物像を捉えるために必要なこと・人物像を捉えることでどんなよさがあるかについて、単元シートに記入する。 	<p>【関心・意欲・態度】 他の人が考えるヒーロー像を聞いて、自分の考えをもっている。 (ワークシート)</p> <p>☆他の人のヒーロー像の説明を聞いた感想を付箋紙に書いて、発表者に渡す</p> <p>【思ア①多面的に見る】 ☆人物像を捉えるために必要なことやよさについて記述する。</p> <p>【思ア⑯広げてみる】</p>

3 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・他者の考えを聞いて、ヒーロー像について自分の考えを深めようとしている。
(関心・意欲・態度)
- ・登場人物の「ヒーロー要素」「not ヒーロー要素」と自分自身の「ヒーローに関わる知識や体験」を関連付け、新たなヒーロー像について考えをもつことができる。
(読む能力)

(2) 本時の展開【5時間目／7時間扱い】 *思考アクティブ化シート B-②【対話意識重視】

	子供の学習活動	子供の思考	<input type="checkbox"/> 教師の働きかけ <input checked="" type="radio"/> 主な発問 ◆評価(評価方法) <input checked="" type="star"/> 思考アクティブ化ポイント
導入 10分	1 前時を想起する ・前時に分類した「ヒーロー要素」「not ヒーロー要素」を確認する。 2 見通しをもつ ・ヒーローに関わる知識や体験と関連付けながら、自分にとってのヒーロー像を考えることを確認する。	「メロス」のことはヒーローと言ってよさそうだ 今日からすべき活動は、この活動だな	<input type="checkbox"/> 単元シートをもとに前時と本時の確認をする。 <input checked="" type="radio"/> 「メロス」は「ヒーロー」だといえますか？ <input type="checkbox"/> 登場人物を「ヒーロー」と感じる・感じないの差があるのは、自分にとっての「ヒーロー像」が異なるからであることを確認させる。
	自分にとっての「ヒーロー像」を考えよう		
展開 35分	3 追究・解決活動を行う ・「ヒーロー要素」や「not ヒーロー要素」をもとに、自分にとってのヒーロー像(「新しいヒーロー像」)を考え、ノートに記述する。 4 まとめる ・「新しいヒーロー像」の理由を、『走れメロス』の登場人物の「ヒーロー要素」「not ヒーロー要素」に触れながら述べあう。 ・話し合いを踏まえ、再度自分にとってのヒーロー像を考え、ノートに記入する。	『走れメロス』に表れていた〇〇なところが、ヒーローとしていいなあ Aさんは『走れメロス』の〇〇なところをヒーローらしいと感じるんだなあ Bさんはヒーローには〇〇なことが必要だと考えているんだなあ Aさんは『走れメロス』の〇〇なところをヒーローらしいと感じるんだなあ 自分は考えていなかったけれど、Cさんのような要素もヒーローには必要だなあ	<input checked="" type="star"/> 記述するときには、『走れメロス』の登場人物の言動に触れて理由も書かせる。 【⑧関連付ける】 <input checked="" type="star"/> 生徒が挙げた人物像の中から、対立関係にありそうな二つを取り上げる。 【④比較する】 <input checked="" type="diamond"/> 他者の考えを聞いて、ヒーロー像について自分の考えを深めようとしている。 (ワークシート、発言) <input checked="" type="diamond"/> 「ヒーロー要素」「not ヒーロー要素」と自分自身の「ヒーローに関わる知識や体験」を関連付け、新たなヒーロー像について考えをもつことができる。 (ワークシート、発言)

終末 5分	<p>5 振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元シートに本時の振り返りを書く。 ・ 次時の見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 単元シートに、本時で学んだことなどについて振り返るよう指示する。 ◎ 『走れメロス』の登場人物の言動に触れながら、自分にとっての「ヒーロー像」について理由とともに考えることができましたか？ □ 次時に「新しいヒーロー像」の紹介の文を書くことを確認する。
----------	---	--

(3) 評価

<p>◇ 評価規準の具体 (評価方法：発言，ワークシート)</p> <p>【読む力】</p> <p>大いに満足できる (AA) : 登場人物の複数の言動に触れながら、自分にとってのヒーロー像を、理由と一緒に記述することができる。</p> <p>十分に満足できる (A) : 登場人物の言動に触れながら、自分にとってのヒーロー像を、理由と一緒に記述することができる。</p> <p>おおむね満足できる (B) : 登場人物の言動に触れながら、自分にとってのヒーロー像を記述することができる。</p> <p>努力を要する児童への指導 : 登場人物「メロス」「セリヌンティウス」「ディオニス」についてヒーローである/ヒーローではないと言えそうなものはいるか確認し、その理由を問うことで、生徒の「ヒーロー像」をまとめさせるようにする。</p>
--

(4) 板書計画

<p>★ 『走れメロス』の登場人物の言動に触れながら、自分にとっての「ヒーロー像」について理由とともに考えることができましたか？</p>	<p>私が考える「ヒーロー像」は…</p>	<p>（という行動）から、ヒーロー（に）は</p> <p>（が必要だ）と感じたから。</p>	<p>【課題】</p> <p>私のヒーローは○○</p> <p>『走れメロス』の登場人物とくらべよう</p> <p>自分にとっての「ヒーロー像」を考えよう</p>
--	-----------------------	--	---

私のヒーローは○○ ～『走れメロス』の登場人物とくらべて「単元シート」★自分にとっての「ヒーロー像」を紹介する

私が思うヒーローは…

な人だ。

第一時 学習の計画を立てる

学習の見直しをしてみましたか？

生徒が書く言葉

第二時 ヒーロー要素を探す

書かれていないところの要素を探えたか？

教師の発問「その後生徒が振り返る」

第三時 ヒーロー要素を整理する

ヒーロー要素をグループに伝えられたか？

第四時 人物像をまとめる

ヒーロー要素同士を関連させて、人物像をまとめてみましたか？

第五時 自分のヒーローと比較する

自分のヒーローの眼と今回の眼とを比べてみましたか？

第六時 ヒーロー像紹介の原稿を書く

ヒーロー要素を使って人物比較するところを添えましたか？

第七時 ヒーロー像紹介

自分や他の人の紹介を通して別のヒーローの眼とを感じましたか？

人物像を捉えるためには、

人物像がわかるように眼と。

自分の眼とヒーローの眼とを比べてみる。

「私のヒーローは○○ ～マウスと地獄～」 毎日シート

★自分にとってのヒーロー像を紹介する

私のヒーローは…

第一話

第二話

第三話

第四話

第五話

私のヒーローは…

第六話

第七話

人物像を捉えるために、

人物像がわかる、

と書く。

ヒーローの個性を